

こども園運営に関するアンケート集計結果報告

幼保連携型認定みょうとくこども園

先日、こども園運営に関するアンケートを実施しましたところ、46 件のアンケートを回収させていただくことができました。ありがとうございました。(アンケート回収率約 60%)

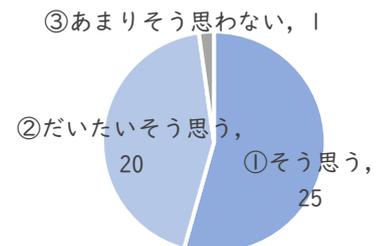
評価していただいているところ、私たちが見落としているところ、今後改善を期待していただいているところなどいろいろなことを気づかせていただきました。

アンケート集計から分析し、数々のご指摘を今後のこども園運営にどのように活用できるか、当園で話し合った内容をお伝えいたします。

1. 園は、園の理念や目標、活動の内容について情報提供に努めているか？

当園は理念、方針、目標を大切に、あらゆる活動の基軸と定めて企画立案しています。

当園が何を伝えたいか、利用者のためにできること、なすべきことは何かをさらに話し合い、利用者みなさまに理解を得ながら、信頼していただけるこども園の運営に取り組んでいきたいと思っております。今後は、こどもたちに語りかけている内容を紹介する機会を増やすなども検討してまいります。

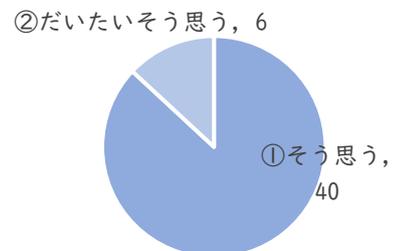


2. 園は、アプリ、ホームページ、園だよりなどを通じ、園の活動内容を伝えているか？

利用者みなさまにご理解を得るためのみならず、お子さまの状態を即座にお伝えすることや最近頻発している自然災害や緊急事態に対応するために、連絡アプリを活用することは非常に有効であります。

ぜひ普段から連絡アプリをご活用し一層操作に慣れるように図りつつ、いつか起こり得る緊急時における情報共有に備えたいと思っております。

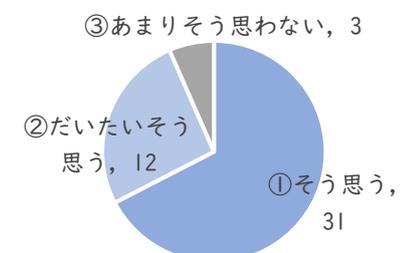
まだまだ不慣れな部分もありますが、必要な情報を的確に、混乱がないようお伝えできるよう心がけてまいります。



3. 保育教諭は、保護者の困りごと、疑問や質問への対応に努めているか？

利用者みなさまからの疑問や質問への対応は、保育教諭の技量のみならず、その人生経験や性格にも左右される、極めて繊細で困難な課題です。

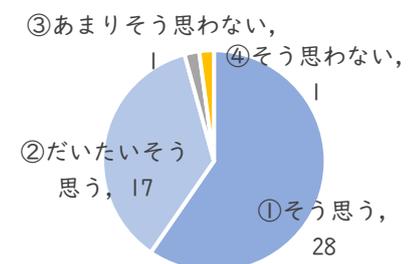
私たちそれぞれが対応後「あれでよかったのだろうか、ほかに対応方法はなかったか」と振り返り、さらに利用者の求めに応えることができるように自己研鑽に努めてまいります。



4. 保育教諭は、こども一人ひとりについて理解し、適切な援助に努めているか？

こども一人ひとりについてそのよろこびと楽しみ、悩みや困りごとを理解して援助することは保育教諭の一番の責務であります。お子さまに悩みや困りごとがおありの様子であれば、私たちと一緒に考えてまいりますのでぜひお知らせください。

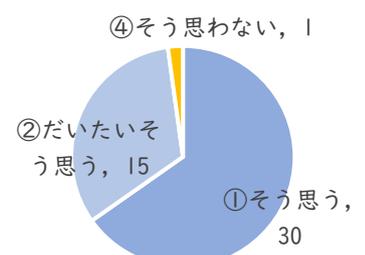
一方でこどもが自ら考えて努力できるように見守ることも適切な援助であると考えています。だからこそ一人ひとりをよく理解し、そばで寄り添うことができるよう今後も心がけてまいります。



5. 園は、こどもが基本的な生活習慣（身支度、挨拶など）が身につくように努めているか？

「きれいにすると自分もみんなも気持ちいい」「挨拶されるとうれしく感じる」などは、他者とのかわりの中で学んでいく大切な事柄です。この基本的な生活習慣を身につけることは、うやまうこと（合掌）・よろこぶこと（感謝）・よく聞くこと（聴聞）・思いやること（和合）、これらの行動の表れであると考え、だからこそ私たちは大切にしたいと思っております。

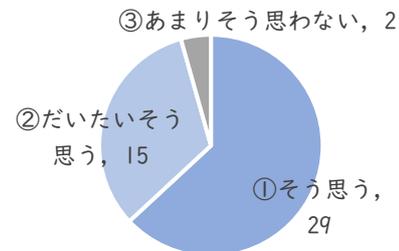
今後も私たちの思いがこどもたちに伝わりますよう、また自ら手本となれますよう努めてまいります。



6. 園は、友だちと仲よく遊び楽しく遊べるよう、援助や環境設定を行っているか？

遊びの中からは楽しさやうれしさのみならず、自分と他者との気持ちの折り合いをつけることを学ぶことができます。それはその子の今後にとって、必要なことを自然に学び取る大切な機会となるかもしれません。またたとえ嫌でやりたくないことであっても、挑戦してみる意欲が持てるようなかわり方も大切です。

月齢にも配慮し異年齢児との活動も取り入れながら、仲よく楽しく、しかし大切な学びを私たちが取り上げることがないように見守る援助も心がけていこうと思います。

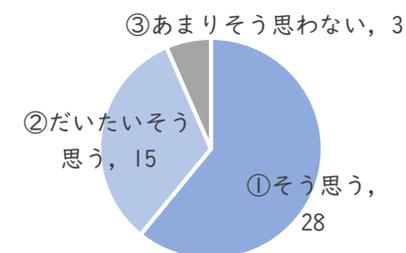


7. 園は、保護者が相談しやすい姿勢や体制を整えているか？

設問3でご回答いただきましたが、あらためて「聞いてみたいけれども尋ねにくい雰囲気」があるのではないかということについての設問です。

私たちは職員間の連携を密にして、相談に対して適切に対応できる姿勢と体制を心がけております。しかしいつでも、だれにでも、なんでもいいからと言われても、タイミングと相手を考えてしまいなかなか尋ねにくいものであるということをよく理解できます。

どうかホールに設置している質問箱をご活用ください。

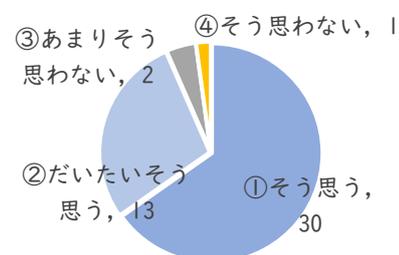


8. 園は、園内の環境設定（環境美化、衛生、安全等）を適切に行っているか？

園舎は築20年を経過し、次第に老朽箇所が目立ってまいりました。遊具や備品も同様で、遊具などは安全基準も変更されつつあり、修理や廃止、入替など役員会の協議のうえで実施することとしています。

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策から、環境衛生の方法は現在も随時見直しております。常に最新の指導情報をもとに、環境美化と衛生管理を行ってまいります。

お昼寝布団の収納状況の改善についてご指摘をいただきました。週末お持ち帰りいただくときに、積み重ねて収納しているために次第に崩れている状態のことだと理解しました。大切に扱いたいからこそ、これは改善すべきことだと思います。何か工夫ができないか、検討を行い随時改善してまいります。

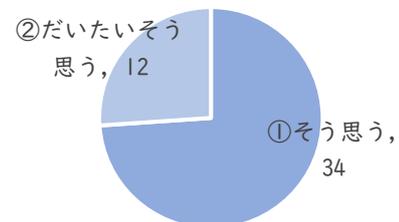


9. こどもは、園のいろいろな行事や活動を楽しみにしているか？

こども一人ひとりに必要なことを考え、月齢などに応じた行事活動の内容を検討実施しております。実施の様子は連絡アプリを使ってお知らせしています。ぜひご覧いただき、お子さまから感想をお聞きになっていただきたいと思います。

園の行事についてどのようなお話をされているか、素直な感想をお聞きのご家族皆さまからのお話は私たちにとって貴重な情報です。

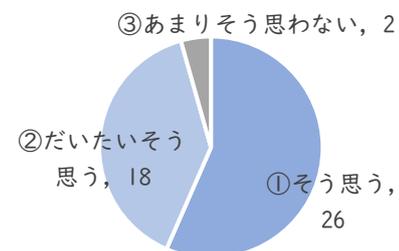
今後の活動に反映させるため、ぜひお聞かせください。



10. こどもは、園での給食を楽しみにしているか？

この設問について、「量が少ないようです」とのご回答をいただきました。まずは量を訴えられるほど給食をすすんで食べてくださっていること、そのことをご家族にお話くださっていることをうれしく思います。給食摂取基準に沿って提供していますので、量についてはお子さまの様子と献立によって主食で調整していただきますようお願いいたします。

当園では食の楽しさと感謝していただくことを伝える食育に取り組み、畑での活動や給食の楽しい雰囲気作りも大切にしています。ご家庭でどのような話をされているか、できる限りの活動に反映させ要望に応じていきたいと思っておりますので、ぜひお知らせください。



その他の意見や要望、提案などについて

- 定期的にこのようなアンケートを行い、改善に役立ててまいります。
- 登降園での安全運転を互いに気を付けること。
- 駐車場ではエンジンを切ること（ご近所への配慮）、保護者同士の長時間の立ち話を控えること（こどもの安全対策）をお願いします。
- 今年度は感染症拡大防止対策のため保育参観の実施を見送りましたが、今後希望調査を行った上で普段の様子を知っていただく機会を設けるための検討を行ってまいります。

ご回答、ありがとうございました。

ご指摘いただいた課題一つひとつに誠実に対応していくため、さらなる研鑽を重ねようと職員一同話し合いました。

今後とも、ご理解ご協力、ご助力をよろしく願いいたします。